

# 労働安全衛生法に基づく特別教育（アーク溶接等業務特別教育）受講報告書

実習工場班 河野 厚志・内野 拓

## 1. はじめに

労働安全衛生法に基づく特別教育（アーク溶接等業務特別教育）が、平成 18 年 6 月 8 日～9 日（2 日間）静岡市葵区鷹匠 2 - 7 - 2、静米会館において行われ、実習工場班より 2 名が受講したので報告します。

## 2. 特別教育の内容

- (1) アーク溶接等に関する知識
- (2) アーク溶接装置に関する知識
- (3) アーク溶接等の作業の方法に関する知識
- (4) 関係法令
- (5) 安全衛生に関する知識

災害事例

じん肺について

## 3. 受講内容について

アーク溶接の種類（被覆アーク溶接・イナートガス溶接・MAG 溶接）および電気関係（アース・感電など）の話を聞いた。

交流アーク溶接機の仕組み・自動電撃防止装置・アーク溶接棒・配線などの話を聞いた。

アーク溶接の実際作業の仕方（アークの出し方、下向き・立て向き・横向き溶接の仕方）を聞いた。また災害の防止や、実際に事故が起きたときの対応法の話も聞いた。

アーク溶接に関する関係法令の話を聞いた。

最後に、筆記試験を行い受講完了した。

今回は学課過程のみで後ほど実技教育を行って全過程修了となる。

## 4. 所感

講師が造船業の安全衛生に関わってきた方で、じん肺などの事例に詳しく、いろいろ興味深い話を聞いた。

じん肺は、鉱物性粉塵などを長期間に渡って吸い込むことにより発症する症状で、肺機能の低下を引き起こす。炭鉱・アーク溶接等の粉塵が生じやすい業務では防塵（場合によっては防塵 + 防毒）マスクを着用しなければならない。この防塵マスクの種類や、各社の製品性能に関する話も興味深かった。

また、事故の事例に感電が多く、それを防ぐための注意点・工夫を聞いた。実際に事故が起きたときの心肺蘇生法に関する話もあった。

さらに、アーク溶接の方法の違いによる電圧・電流の設定など、実際の作業に役立つ話も聞け、非常に有意義な講義だった。